

2024年9月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年5月15日

上場会社名 株式会社テクノクリエイティブ 上場取引所 東
コード番号 9335 URL http://www.techno-creative.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)三嶋 一秀
問合せ先責任者 (役職名)取締役 コーポレート部 部長 (氏名)松田 英明 (TEL) (096) 386-2360
中間発行者情報提出予定日 2024年6月28日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期中間期の業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期中間期	2,937	△9.7	88	△66.9	89	△67.5	57	△56.2
2023年9月期中間期	3,253	16.5	268	79.7	276	71.6	130	45.9

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期中間期	28.53	-
2023年9月期中間期	65.20	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年9月中間期	3,535	833	23.6	416.77
2023年9月期	3,984	806	20.2	403.24

(参考) 自己資本 2024年9月期中間期 833 百万円 2023年9月期 806 百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 中間期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月中間期	△49	△267	△404	1,221
2023年9月中間期	185	△30	△57	1,144

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間	期末	合計			
2023年9月期	円 銭 0.00	円 銭 15.00	円 銭 15.00	百万円 30	% 10.0	% 4.6
2024年9月期	0.00			-	-	-
2024年9月期(予想)		0.00	0.00		-	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	12.0	599	31.6	603	31.6	336	12.7	168.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年9月期中間期	2,000,000株	2023年9月中間期	2,000,000株
-------------	------------	------------	------------

② 期末自己株式数

2024年9月期中間期	一株	2023年9月中間期	一株
-------------	----	------------	----

③ 期中平均株式数（中間期）

2024年9月期中間期	2,000,000株	2023年9月期中間期	2,000,000株
-------------	------------	-------------	------------

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間（2023年10月1日～2024年3月31日）における我が国経済は、海外経済の回復ペース鈍化による下押し圧力を受けるものの、緩和的な金融環境や政府の経済対策の効果などにも支えられて、緩やかな回復を続けております。海外経済につきましては、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直しております。また、企業収益は、内外需要が増加し、原材料コスト高による下押し圧力も引き続き和らいでいくことから、改善基調にあります。設備投資につきましても、緩和的な金融環境にも支えられ、緩やかに増加しております。

しかしながら、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響による下振れなどを通じて、グローバルな金融環境が一段とタイト化し、ひいては海外経済が下振れとなれば、国内外の景気回復の見通しが崩れる可能性もございます。

また、中東やウクライナ情勢の帰趨次第では、エネルギーや小麦など資源・穀物の輸入国である我が国にとって、供給要因による資源・穀物価格の上昇は、海外需要の拡大や輸出の増加を伴わないため、輸入コストの増加を通じた経済への下押しの影響が大きくなる可能性がございます。一方で、資源・穀物価格が下落基調を強めれば、経済が上振れる可能性もございます。

当社を取り巻く環境といたしましては、新型コロナウイルス感染症収束後のペントアップ需要が一服したことと、世界的な半導体市場の縮小により、製造装置需要の低迷が続いております。一方で、DX需要は底堅く、AI・セキュリティ関連・老朽化したシステムの刷新等のIT案件の拡大基調が続いております。

こうした状況の下、当社におきましては、顧客企業からのニーズに応えるべく、全社を挙げて事業基盤の構築を継続して参りました。エンジニアリング領域におきましては、ファクトリーセンター大津における新棟建設と同時に、新たな生産拠点としてファクトリーセンター広川を新設いたしました。また、システムインテグレーション領域におきましては、ビジネスエンジニアリング株式会社とmcframeエンジニアリングパートナー契約を締結し、当該インテグレーション体制の強化や専門的な技術教育を実施したことで、当該案件の受注が拡大しております。

これらの結果、当中間会計期間の売上高は2,937,392千円（前年同期比9.7%減少）、営業利益は88,853千円（前年同期比66.9%減少）、経常利益は89,790千円（前年同期比67.5%減少）、中間純利益は57,065千円（前年同期比56.2%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間の財政状態につきましては、次のとおりです。

(資産の部)

資産合計は3,535,691千円（前期末比448,708千円減）となりました。流動資産につきましては、2,196,704千円（同682,881千円減）となりました。これは主に、現金及び預金の減少709,003千円等によるものです。固定資産につきましては、1,338,986千円（同234,173千円増）となりました。これは主に、建物の増加226,428千円等によるものです。

(負債の部)

負債合計は2,702,135千円（同475,773千円減）となりました。流動負債につきましては、1,098,835千円（同416,160千円減）となりました。これは主に1年内返済長期借入金の減少7,473千円及び1年内償還社債の減少400,000千円によるものです。固定負債につきましては、1,603,300千円（前期末比59,612千円減）となりました。これは主に、長期借入金の減少67,037千円等によるものです。

(純資産の部)

純資産につきましては833,555千円（同27,065千円増）となりました。これは、繰越利益剰余金の増加24,065千円等によるものです。

②キャッシュフローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の残高は1,221,581千円(前年同期比77,507千円増)となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は49,055千円となりました。これは法人税等の支払額134,352千円が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は267,437千円となりました。これは有形固定資産の取得による支出262,089千円が主な要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は404,511千円となりました。これは主に、社債の償還による支出400,000千円及び長期借入金の返済による支出74,511千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

このような環境の中、翌事業年度(2024年9月期)の業績見通しにつきましては、売上高7,000,000千円(前年同期比12.0%増)、営業利益599,700千円(前年同期比31.6%増)、経常利益603,930千円(前年同期比31.6%増)、当期純利益336,785千円(前年同期比12.7%増)を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当中間会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,138,628	1,429,624
受取手形、売掛金及び契約資産	657,032	693,670
仕掛品	2,488	2,094
前渡金	3	13,008
前払費用	35,023	52,556
その他	52,582	12,163
貸倒引当金	△6,173	△6,413
流動資産合計	2,879,585	2,196,704
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	636,465	862,893
構築物(純額)	5,200	19,848
工具器具備品(純額)	11,616	20,879
土地	307,676	307,413
車両運搬具(純額)	5,809	4,839
建設仮勘定	5,236	—
有形固定資産合計	972,004	1,215,873
無形固定資産		
ソフトウェア	10,760	10,639
無形固定資産合計	10,760	10,639
投資その他の資産		
出資金	30	40
長期前払費用	2,194	1,646
繰延税金資産	69,248	60,670
その他	50,575	50,117
投資その他の資産合計	122,048	112,474
固定資産合計	1,104,813	1,338,986
資産合計	3,984,399	3,535,691

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当中間会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,898	47,834
短期借入金	91,740	191,740
1年内返済予定の長期借入金	141,523	134,050
1年内償還予定の社債	400,000	—
未払金	41,188	90,579
未払費用	347,857	352,315
未払法人税等	134,351	24,145
未払消費税等	96,658	45,123
預り金	127,670	113,492
賞与引当金	87,627	96,766
受注損失引当金	2,262	—
その他	5,217	2,787
流動負債合計	1,514,995	1,098,835
固定負債		
社債	350,000	350,000
長期借入金	1,203,271	1,136,233
役員退職慰労引当金	57,486	60,386
退職給付引当金	52,155	56,680
固定負債合計	1,662,913	1,603,300
負債合計	3,177,909	2,702,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
利益剰余金		
利益準備金	9,557	12,557
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	746,932	770,998
利益剰余金合計	756,490	783,555
株主資本合計	806,490	833,555
純資産合計	806,490	833,555
負債純資産合計	3,984,399	3,535,691

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当中間会計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
売上高	3,253,871	2,937,392
売上原価	2,558,827	2,470,180
売上総利益	695,044	467,211
販売費及び一般管理費	426,763	378,357
営業利益	268,280	88,853
営業外収益		
受取利息	2	5
不動産賃貸収入	12,176	9,741
助成金収入	8,760	3,400
その他	1,005	2,009
営業外収益合計	21,944	15,157
営業外費用		
支払利息	4,132	6,989
電子記録債権売却損	2,239	1,430
社債利息	851	947
社債発行費	—	541
不動産賃貸費用	6,503	4,118
その他	412	192
営業外費用合計	14,139	14,220
経常利益	276,086	89,790
特別損失		
退職給付引当金繰入額	43,875	—
特別損失合計	43,875	—
税引前中間純利益	232,211	89,790
法人税、住民税及び事業税	104,478	24,146
法人税等調整額	△2,676	8,578
法人税等合計	101,801	32,725
中間純利益	130,409	57,065

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当中間会計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	232,211	89,790
減価償却費	6,913	17,450
のれん償却費	38,884	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	400	9,138
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	△2,262
退職給付引当金の増減額(△は減少)	50,020	4,525
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,460	2,900
貸倒引当金の増減額(△は減少)	565	239
受取利息	△2	△5
不動産賃貸収入	△12,176	△9,741
助成金収入	△8,760	△3,400
支払利息	4,132	6,989
不動産賃貸費用	6,503	4,118
売上債権の増減額(△は増加)	△96,535	△41,385
棚卸資産の増減額(△は増加)	5,941	393
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,134	8,936
その他	△25,150	1,636
小計	199,273	89,323
利息の受取額	2	5
利息の支払額	△4,951	△7,431
法人税等の支払額	△18,063	△134,352
助成金の受取額	8,760	3,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	185,022	△49,055
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,880	△262,089
無形固定資産の取得による収入	△2,918	△1,573
投資不動産の賃貸による収入	12,176	9,741
投資不動産の賃貸に係る支出	△2,889	△1,445
定期預金預入による支出	△12,000	△12,000
敷金及び保証金の回収による収入	40	22
敷金及び保証金に支払による支出	△18,448	△83
その他	—	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,921	△267,437

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当中間会計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減(△は減少)	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△57,738	△74,511
社債の償還による支出	—	△400,000
配当金の支払額	—	△30,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,738	△404,511
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	96,362	△721,003
現金及び現金同等物の期首残高	1,047,711	1,942,585
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,144,073	1,221,581

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、総合エンジニアリング事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。